

私立大学図書館協会東地区部会

研究部報告書

2023 年度

2024 年 6 月

研究部担当理事校

専修大学図書館

目次

《2023 年度研究部活動報告》	2
1 運営委員会	2
2 運営委員・委託業者合同会議.....	4
3 研修委員会	4
《2023 年度研修事業報告（運営委員会）》	6
1 東地区部会研修会.....	6
1.1 初任者研修.....	6
1.2 PB（Project/Problem Based）研修	6
1.3 スキルアップ研修	7
2 オンデマンド研修.....	9
3 研修報告大会.....	9
《2023 年度研究講演会》	10
《2023 年度研修会（研修委員会）》	10
《2023 年度研修委員会報告書》	11
《2023 年度東地区部会研究部決算報告・監査報告書》	15
《2024 年度東地区部会研究部活動計画（案）》	16
《2024 年度東地区部会研究部予算（案）》	17
《関係規程》	18

《2023 年度研究部活動報告》

1 運営委員会

運営委員（任期 2023 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

委 員 辺見 純子 （帝京大学）
柄田 明美 （国立音楽大学）
杉本 若葉 （慶應義塾大学）
岡本 諒子 （早稲田大学）
細本 有理子 （成蹊大学）
佐々木 綾花 （立正大学）
丸山 雄太 （大正大学）

研究部担当理事校 専修大学

飯泉 慎也
野村 彩衣

臨 時 2023 年 4 月 15 日（土）～4 月 18 日（火） 於：メール会議

1. 「私立大学図書館協会東地区部会研究部細則」の改正の提案について

第 1 回 2023 年 4 月 26 日（水）14:00～15:05 於：Web 会議（Zoom）

1. 2023 年度運営委員について
2. 2022 年度研究部決算報告について
3. 2023 年度研究部活動計画および予算について
4. 2023 年度研修分科会特別助成金申請について
5. 2022 年度研修委員会活動報告について
6. 2023 年度第 1 回運営委員・研修委託業者合同会議について
7. 2023 年度研修会・オンデマンド研修について
8. 2023 年度東地区部会研究講演会について
9. 2023 年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
10. その他

第 2 回 2023 年 5 月 25 日（木）13:30～13:55 於：Web 会議（Zoom）

1. 2023 年度研修会受講者確定について
2. 2023 年度特別助成金について
3. 2023 年度東地区部会研究講演会について
4. 2023 年度オンデマンド研修（雑誌コース）の実施予定について
5. 2023 年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
6. 2023 年度第 1 回運営委員・研修委託業者合同会議について
7. その他

第3回 2023年7月13日(木) 10:00~12:50 於:専修大学

1. 2023年度研究講演会について
2. 2023年度オンデマンド研修(雑誌コース)について
3. 2022年度東地区部会研究部報告書について
4. 2023年度研修事業について
 - ① 実施状況報告
 - ② 特別助成申請書
 - ③ 西地区への展開
5. 研究部運営マニュアルについて
6. Microsoft365について
7. 2023年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
8. その他

第4回 2023年10月26日(木) 14:00~15:25 於:Web会議(Teams)

1. 2023年度オンデマンド研修(雑誌コース・図書コース)実施状況報告
2. 2023年度研修報告大会について
3. 2024年度研究講演会テーマ・研修事業コースの設定について
4. 2023年度第2回運営委員会・委託業者合同会議について
5. 2023年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
6. その他

第5回 2024年1月19日(金) 14:00~15:55 於:Web会議(Teams)

1. 2023年度オンデマンド研修(雑誌コース)アンケート集計結果報告
2. 2023年度研修報告大会実施報告
3. 2024年度東地区部会研究部活動計画について
4. 2023年度中間決算について
5. 2024年度予算案について
6. 東地区部会研究部の組織見直しについて
7. 2023年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
8. その他

第6回 2024年3月13日(水) 14:00~15:25 於:Web会議(Teams)

1. 2023年度オンデマンド研修(図書コース)実施・アンケート集計結果報告
2. 2023年度研修委員会報告
3. 2024年度研修事業について
4. 2024年度研究講演会について
5. 2024年度研究部運営委員会日程及び協会スケジュールについて
6. 東地区部会研究部の組織見直しについて
7. その他

2 運営委員・委託業者合同会議

第1回 2023年5月25日(木) 14:00~15:00 於: Web会議 (Zoom)

1. 2023年度研究部活動計画について
2. 2023年度研修5月報告(大学図書館支援機構様)
3. 2023年度研修報告大会について
4. 2023年度研修報告資料について
5. その他

第2回 2023年11月16日(木) 14:00~15:30 於: Web会議 (Teams)

1. 2023年度研修事業実施状況報告(研究部)
2. 2023年度研修事業実施状況報告(大学図書館支援機構様)
3. 2023年度研修事業に関する中間評価
4. 2023年度研修報告大会について
5. 2024年度研修事業(案)について
6. その他

3 研修委員会

研修委員(任期2023年4月1日~2024年3月31日)

委員長 松下 裕 (明治大学)
委員 今井 星香 (慶應義塾大学)
丸山 雄大 (大正大学)
南川 真貴子 (中央大学)
渡邊 幸弘 (早稲田大学)

オブザーバー 古賀 理恵子 (慶應義塾大学)

事務局 専修大学(任期2023年4月1日~2025年3月31日)

中田 真美子
水本 啓右

第1回 2023年4月21日(金) 10:00~11:30 於: 専修大学

1. 2023年度研修委員会について
2. 2023年度研修会のテーマについて
3. その他

第2回 2023年5月30日(火) 15:00~17:00 於: 大正大学

1. 2023年度研修会のテーマ及び講師候補について
2. その他

第3回 2023年6月28日(水) 13:00~14:30 於: 慶應義塾大学

1. 2023年度研修会プログラムについて
2. その他

第4回 2023年9月27日(水) 13:00~14:20 於: Web会議 (Teams)

1. 2023年度研修会について
2. 10月6日(金)の研修会リハーサルについて
3. その他

第5回 2023年12月4日(月) 15:00~17:15 於: Web会議 (Teams)

1. 2023年度研修会について(振り返り)
2. 2024年度研修会について
3. その他

第6回 2024年3月5日(火) 15:00~17:15 於: Web会議 (Teams)

1. 次期委員会への引継ぎ
2. 研修委員会組織見直し
3. その他

≪2023 年度研修事業報告（運営委員会）≫

1 東地区部会研修会：初任者研修、PB（Project/Problem Based）研修、スキルアップ研修 （別紙1参照）

近年、大学図書館では人事異動や業務委託の導入等により、図書館業務に携わる人員の流動性が非常に高まり、変化の著しい業務知識や経験・ノウハウ等の継承が困難な状況に直面しております。これまで、私立大学図書館協会東地区部会では、研究分科会や研修分科会といった単年度から複数年に亘る研修体制を用意し、サポートしてきましたが、研究分科会活動の低迷といった状態が続いておりました。このような状況を踏まえ、2022 年度より私立大学図書館協会東地区部会では、各図書館の抱えているこれらの課題を軽減すべく、これまで実施してきた研究分科会と研修分科会の体制に代わる新たな研修体制を準備し、各大学図書館での学習支援体制向上のサポートを開始しました。

1.1 初任者研修（参加者数：22 名、実施形式：オンライン）

主に図書館勤務初年次職員を中心に大学図書館における様々な業務や問題について知る場として、また、初任者同士の横のつながりを創出する場としていきます。

第1回 2023 年 6 月 23 日（金）

これからの力の図書館の話をしよう：大学図書館職員のDX

第2回 2023 年 8 月 4 日（金）

バーチャルライブラリーツアー動画試写会

臨時 2023 年 8 月 30 日（水）（実施形式：図書館見学）

図書館見学（駒澤大学図書館、日本女子大学図書館、学習院大学図書館）

第3回 2023 年 10 月 13 日（金）

電子リソースの達人を目指して

第4回 2023 年 11 月 17 日（金）

学生協働を活かすには

1.2 PB（Project/Problem Based）研修（参加者数：4 名、実施形式：オンライン）

初任者研修に続く研修として、参加者が持っている業務に関する問題・課題意識を参加者同士で共有し、コーディネーターやファシリテーターと共に解決方法から学び、習得し、実践を通して解決・改善する場としていきます。

第1回 2023 年 6 月 9 日（金）

研修ガイダンス、課題・グループ設定、研究方針計画

第2回 2023 年 7 月 7 日（金）

課題検討、進捗発表

第3回 2023 年 8 月 25 日（金）

事前課題発表

第4回 2023 年 9 月 29 日（金）

全体の課題への取り組みとまとめ

第5回 2023 年 10 月 27 日（金）

プレゼンテーション技法、資料のブラッシュアップ

第6回 2023年12月1日(金)

最終発表資料推敲、リハーサル

1.3 スキルアップ研修

初任者研修に続く研修として、図書館業務個別の問題・課題に対し、発展的に学び知見とノウハウを深めていきます。更に、主体的に解決していくと共に効果的に成果を公開していくための能力を身につける場としていきます。

1.3.1 和漢古典籍コース（参加者数：10名、実施形式：対面）

- 第1回 2023年5月29日(月)
工具書などの案内、基礎知識の解説
- 第2回 2023年6月19日(月)
調書の取り方について、調書作成の実習
- 第3回 2023年7月3日(月)
作成された調書の検討、調書作成の実習
- 第4回 2023年8月7日(月)
調書の取り方について、調書作成の実習
- 第5回 2023年9月25日(月)
作成された調書の検討、調書作成の実習
- 第6回 2023年10月16日(月)
調書の取り方について、調書作成の実習
- 第7回 2023年11月6日(月)
作成された調書の検討、調書作成の実習
- 第8回 2023年11月20日(月)
作成された調書の検討、調書作成の実習

1.3.2 RDA/3R コース（参加者数：9名、実施形式：オンライン）

- 第1回 2023年5月26日(金)
RDA3Rの世界
- 第2回 2023年7月21日(金)
RDA3Rの世界
- 第3回 2023年9月8日(金)
世界のRDA3R
- 第4回 2023年11月10日(金)
世界のRDA3R

1.3.3 NCR2018 コース（参加者数：13名、実施形式：オンライン）

- 第1回 2023年6月15日(木)
基礎知識①FRBRモデル
- 第2回 2023年6月22日(木)

基礎知識②NCR2018 の特徴-NCR1987 年版との違いを中心に

- 第3回 2023年7月6日(木)
NCR2018を知る①書誌の視点から-体現形・表現形の記録
- 第4回 2023年8月3日(木)
NCR2018を知る②典拠の視点から-著作及び第2グループ
- 第5回 2023年11月2日(木)
NCR2018を知る③関連

1.3.4 ヘルスサイエンスコース(参加者数:4名、実施形式:オンライン)

- 第1回 2023年6月26日(月)
ライフサイエンス分野における情報収集
- 第2回 2023年7月19日(水)
そのほかの情報源
- 第3回 2023年9月14日(木)
「職場で感染対策について情報提供を求められました」あなたはどうしますか?
- 第4回 2023年10月3日(火)
カウンターで「卒論で〇〇〇について調べたいんですが、どうやって探せばいいですか?」と相談を受けました。あなたはどうしますか?
- 第5回 2023年10月31日(火)
「文献レビューをしたい」と相談を受けました。どのようなポイントに気をつけて相談に乗りますか?
- 第6回 2023年11月14日(火)
何度も同じ文献取り寄せ依頼をしてくる利用者がいます。どのようなフォローができそうですか?

1.3.5 学生協働コース(参加者数:7名、実施形式:オンライン)

- 第1回 2023年6月17日(土)
大学図書館における学生協働の意義を考える【意義編】
- 第2回 2023年7月15日(土)
大学図書館における学生協働の意義を考える【仕組み編】
- 臨時 2023年8月4日(金)
自職場における学生協働の取組例・工夫点紹介【講師編】
- 第3回 2023年8月19日(土)
大学図書館における学生協働の意義を考える【組織とコミュニケーションのあり方編】
- 第4回 2023年9月16日(土)
自職場の学生協働のあり方を考え直す【総仕上げ】

1.3.6 電子資料コース(参加者数:15名、実施形式:オンライン)

- 第1回 2023年8月5日(土)
電子リソースの現状をつかむ

- 第2回 2023年9月2日(土)
電子リソースの流通を見る
- 第3回 2023年9月30日(土)
電子リソースの管理を知る
- 第4回 2023年11月4日(土)
電子リソースの運用を考える

2 オンデマンド研修(別紙2参照)

近年、大学図書館では人事異動や業務委託の導入により、図書館業務の基本である目録作成に携わる機会が著しく減少しています。しかし、図書館をマネジメントする上で目録に関する知識は必須であることから、目録技術の普及に寄与することと、私立大学図書館に勤務する館員の育成を目的に、オンデマンドによる双方向型研修を実施しております。

2.1 雑誌コース(参加者数:22名、修了者数:21名)

開催期間:2023年7月28日(金)~10月26日(木)

2.2 図書コース(参加者数:24名、修了者数:23名)

開催期間:2023年11月3日(金)~2024年2月1日(木)

3 研修報告大会(別紙1参照)

日時:2023年12月15日(金)13:45~17:00

方法:オンライン開催・オンデマンド配信(専修大学)

録画映像公開期間:2023年12月25日(月)~2024年1月31日(水)

出席者:89名

動画視聴回数:793回

司会:研究部運営委員会委員 早稲田大学図書館 岡本 諒子

挨拶:研究部担当理事校 専修大学図書館長 廣瀬 玲子

研修報告

- ① 初任者研修
- ② PB(Project/Problem Based)研修
- ③ スキルアップ研修(和漢古典籍コース)
- ④ スキルアップ研修(RDA/3Rコース)
- ⑤ スキルアップ研修(NCR2018コース)
- ⑥ スキルアップ研修(ヘルスサイエンスコース)
- ⑦ スキルアップ研修(学生協働コース)
- ⑧ スキルアップ研修(電子資料コース)

研究部からのお知らせ:研究部担当理事校 専修大学図書館 飯泉 慎也

≪2023 年度研究講演会≫（別紙 3 参照）

日時：2023 年 6 月 9 日（金）13：30～16：30

方法：オンライン開催・オンデマンド配信（専修大学）

録画映像公開期間：2023 年 6 月 16 日（金）～7 月 31 日（月）

出席者：113 名

動画視聴回数：延べ 857 回

テーマ：アフターコロナの大学図書館—電子図書館とデジタルアーカイブ

司会：研究部担当理事校 専修大学図書館 野村 彩衣

挨拶：研究部担当理事校 専修大学図書館長 廣瀬 玲子

講演 1：「電子書籍と電子図書館の現状と課題—調査をもとに」

専修大学教授 植村 八潮 氏

講演 2：「デジタル化の歴史から、その機能の変遷をたどる」

出版流通史研究者 牛口 順二 氏

≪2023 年度研修会（研修委員会）≫（別紙 4 参照）

日時：2023 年 10 月 20 日（金）13：00～16：00

方法：オンライン開催、オンデマンド配信（専修大学）

録画映像公開期間：2023 年 11 月 1 日（水）～11 月 30 日（木）

出席者：65 名

動画視聴回数：延べ 473 回

テーマ：レファレンスサービス最前線～どうしよう。それでも利用者は待ってくれない～

司会：研究部研修委員会委員 中央大学図書館 南川 真貴子

挨拶：研究部研修委員会委員長 明治大学図書館 松下 裕

講演 1：「レファレンスサービス最前線—参照技法を言語化する必要—」

慶應義塾大学非常勤講師 小林 昌樹 氏

講演 2：「近畿大学中央図書館 学修支援とレファレンスサービス」

近畿大学中央図書館 上野 芳重 氏

講演 3：「レファレンス業務体制の変貌—オンラインレファレンスの開設から—」

立正大学図書館 吉水 拓哉 氏

講演 4：「レファレンスにおける電子資料の利用と入手」

明治大学中野図書館 西脇 亜由子 氏

《2023 年度研修委員会報告書》

2023 年度研修委員会活動報告

東地区部会研究部研修委員会
委員長 松下 裕 (明治大学)

1. 研修委員 (任期 2022 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

委員長 松下 裕 (明治大学)
委員 丸山 雄太 (大正大学)
南川 真貴子 (中央大学)
渡邊 幸弘 (早稲田大学) ※ (前任者交代による残任期間 2023 年 4 月 1 日
～2024 年 3 月 31 日)
今井 星香 (慶應義塾大学)
水本 啓右 (専修大学) ※事務局 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)
中田 真美子 (専修大学) ※事務局 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)
オブザーバー 古賀 理恵子 (慶應義塾大学)

2. 委員会活動概況

年間 6 回(4、5、6、9、12、3 月)の委員会を開催した。

初回(4 月)は、研修会のテーマについて、前年度実施した研修会のアンケート結果をもとに検討した結果、文献検索・入手というキーワードに着目をし、「レファレンスサービス」をテーマにすることとし、具体的な内容、講師について検討した。また開催形式については、昨年度と同様にオンラインで開催することとした。委員会開催についてはオンラインを中心とし、議題に応じて対面での開催とすることになった。

第 2 回(5 月)には研修会のタイトルを「レファレンスサービス最前線～どうしよう。それでも利用者は待ってくれない～」とし、プログラムにそった講師の候補を選定した。レファレンスをテーマに、レファレンス経験者およびこれからレファレンスを担当する予定の図書館員の参考になるような講演・事例紹介でプログラムを構成することとした。

第 3 回(6 月)は、講演・事例紹介をしていただく候補講師から承諾が得られことから研修プログラムを確定し、研修会当日の役割分担、リハーサル日程等の調整を行った。また、これまで使用してきた Slack に代わって、データ保存・共有、チャット機能などがある Microsoft Teams の利用ガイドライン(運営委員会作成)に沿って運用を開始した。

第 4 回(9 月)は、当日の進行方法についての意見交換、各自の担当業務の進捗状況の確認、アンケートフォーマット等の検討を行った。

10 月 6 日(金)にリハーサルを実施、講師への説明と当日の進行・配布資料および研修会終了後のオンデマンド動画公開の確認等を行い、10 月 20 日(金)の研修会当日を迎えた。

第 5 回(12 月)では、オンデマンド視聴結果を含めた研修会実施の概況、アンケート結果を各委員が

確認し、研修会の振り返りを行った。これを基に次年度テーマを検討し、次期委員会に引き継ぐこととした。

また、研究部担当理事校より、研究部組織見直しについての提案があり、意見交換を行い、次回継続して検討することとした。

第6回(3月)では、次期研修委員も参加し、研修委員会の引継ぎを行った。また、継続課題となっていた研究部組織見直しについて意見交換を行い、課題点を Teams にて確認をして研究部担当理事校に回答することとした。

3. 2023 年度研修会

(1) 実施概要

・テーマ：

「レファレンスサービス最前線～どうしよう。それでも利用者は待ってくれない～」

・日程：2023年10月20日(金)13:00～16:00

・オンライン開催 Zoom(ウェビナー方式)

・参加者数：79名(オンデマンド視聴473回(11/1～11/30))

・参加委員：松下、丸山、南川、渡邊、今井

古賀(オブザーバー)、事務局：水本、中田

(2) 開催趣旨/概要

コロナ禍によって図書館の利用方法もオンラインサービスや電子ブックの活用促進など、新しい転機を迎えた。ChatGPT といった新しいテクノロジーの展開も話題になっている中で、図書館経験の長い職員やスタッフだけでなく、人事異動により初めて図書館担当となる職員やスタッフにとって、利用者と直接向き合うレファレンスサービスのノウハウの共有とスキルアップは、なお一層重要になってくるものと考え。

サービスの形も変わりつつある中で、図書館の資料と利用者が必要とする情報を結びつけるレファレンスサービスの在り方を見直すことは、これからの図書館にとっても大きな意味を持つものと考え、2023年度の研修会は、さまざまな視点からレファレンスサービスを取り上げる講演会とした。

(3) タイムスケジュール及び講演内容

10月20日(金)

13:00 開会挨拶・事務連絡

13:07 「レファレンスサービス最前線 -参照技法を言語化する必要-」

慶應義塾大学非常勤講師 小林 昌樹氏

13:58 「近畿大学中央図書館 学修支援とレファレンスサービス」

近畿大学中央図書館 上野 芳重氏

14:42 「レファレンス業務体制の変貌 -オンラインレファレンスの開設から-」

立正大学図書館 吉水 拓哉氏

15:18 「レファレンスにおける電子資料の利用と入手」

明治大学中野図書館 西脇 亜由子氏

15:55 閉会挨拶

(4) 特記事項

- ・研修会は昨年度に引き続きオンライン開催とし、私立大学図書館協会が契約した Zoom Webinar (同時アクセス上限 500)のアカウントを借用して実施した。
- ・アンケート結果からも、開催方式についてオンライン形式が参加しやすいとの回答が多く見られ、オンライン形式が定着してきたと言える。
- ・オンデマンド視聴回数も当日参加者を大幅に上回る 473 回の視聴があり、当日参加できなかった方や振り返りのため等、アーカイブ配信を有効に活用していただけたと考える。
- ・昨年度まで課題だった情報共有の方法については、2023 年度より、東地区研究部で契約した Microsoft Teams の一部機能を研修委員会でも使用できることとなった。これにより研修委員会および研修会の資料データの保存・共有、チャット機能による意見交換等が円滑に行えるようになった。

4. 2024 年度研修会

研修会参加者のアンケート内容を基に委員で意見交換を行い、2024 年度研修会のテーマは私図協としての独自性や特色のある研修とすること、および中小規模の図書館も参加しやすいテーマとし、広く参加していただくことを念頭に、図書館員の日常業務に即した具体的な内容、オンラインならではの見せ方を工夫した臨場感ある事例紹介を含めることとした。このような方向性を示して具体的な内容については次期委員会の検討に委ねることとするが、次の項目を例示することとした。

- ・学生を取り込むような図書館業務の具体例
- ・企画展示
- ・特色ある図書館利用ガイダンス
- ・図書館のリニューアルの仕方 など

5. その他（次年度以降に向けた今後の課題等）

- ・研修会の「地域開催」について

コロナ禍での感染対策として始まったオンライン形式での開催も 3 年目となり定着してきた。アンケート結果からも参加のしやすさからオンライン開催を望む声が多いことが確認されている。2018 年度まで隔年で実施していた「都市開催」と「地域開催」の取り扱いについて、再確認する時期にある。

- ・組織統合について

第 5 回研修委員会において研究部担当理事校より、研究部組織見直しについて提案があった。運営委員会と研修委員会を統合する提案の背景には、2024 年度の研修委員（次々期研究部担当理事校）を引き受けていただける大学が決まっていない状況にある旨の説明を受けた。

この提案について研修委員会で意見交換を行い次のとおりまとめた。

専任職員の減少等で次期役員校が見つからない状況のもと、組織の維持のために組織を再編することは必要と考える。

ただし、組織再編をするだけでは、担当委員の負担増が予想され、再編後の組織維持が難しくなることが想定されることから、再編にあたり合理化、効率化を念頭に入れた事業の見直しを行い、持続可能な事業規模とするなど、今後の検討が必要と考える。

またこれらの事業の見直しによる検証には複数年かかると思われることから、その評価と規模の見直しを行う役割をどの会議体が担うのか明示し、任期満了の役員交代の際に組織見直しの理念が失われな

いように取り組む必要があると考える。

以上のことを研究部担当理事校および運営委員会に申し添えを行い、本提案について賛成の意を表すこととした。

以上

《2023年度東地区部会研究部決算報告・監査報告書》

2023年度 私立大学図書館協会東地区部会 研究部
 決算報告
 (2023年4月1日～2024年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	予算額(A)	執行額(B)	差異(A-B)	備考
部会交付金	4,801,500	4,801,500	0	2016年度より支出に応じた交付
研究会(報告大会)参加費収入	0	0	0	
研修会参加費収入	0	425,000	△ 425,000	初任者研修、PB研修、スキルアップ研修参加費(85名分)×@5,000円
雑収入	500	7	493	預金利息等
小計	4,802,000	5,226,507	△ 424,507	
前年度繰越金	0	0	0	
合計	4,802,000	5,226,507	△ 424,507	

支出の部

科目	予算額(A)	執行額(B)	差異(A-B)	備考
研究講演会(部会総会)開催費	150,000	100,000	50,000	講師謝礼(50,000円×2名分)
研修報告大会開催費	150,000	1,800	148,200	飲み物代
研修会開催費	150,000	30,000	120,000	講師謝礼(30,000円×1名分)
研修会(地域研修)開催費	0	0	0	
研修事業委託費	0	2,717,000	△ 2,717,000	助成金ではなく、研修事業委託費として計上。
内訳				
初任者研修	0	440,000	△ 440,000	
PB研修	0	363,000	△ 363,000	
スキルアップ研修	0	1,914,000	△ 1,914,000	2023年度は6コース
オンデマンド研修費	450,000	414,040	35,960	システム・ネットワーク費、研修運営費(受講者46名)
運営委員会費	150,000	426,095	△ 276,095	オンライン業務環境サービス関連契約費用等(ZOOM、Microsoft365等)
運営委員会・研修事業委託委員会合同会議開催費	10,000	0	10,000	年2回(5月・11月)オンラインで実施
研修会助成金	390,000	0	390,000	研修事業委託費へ移行
内訳				
基本助成	90,000	0	90,000	
割増助成会員	300,000	0	300,000	
特別助成金	2,627,000	0	2,627,000	研修事業委託費へ移行
内訳				
初任者研修支援金	410,000	0	410,000	
PB研修支援金	333,000	0	333,000	
スキルアップ研修支援金	1,884,000	0	1,884,000	
研修委員会費	100,000	1,260	98,740	飲み物代
研究部活動費	50,000	0	50,000	研究部活動(運営委員会・研修委員会含む)
印刷費	0	0	0	
内訳				
研究部報告書	0	0	0	2018年度を以って電子化
研究部用封筒印刷代他	0	0	0	封筒、チラシ作成他
通信費	25,000	980	24,020	
運営事務費	50,000	8,250	41,750	振込手数料他
小計	4,302,000	3,699,425	602,575	
予備費	500,000	0	500,000	事務資料デジタル化
合計	4,802,000	3,699,425	1,102,575	
次年度繰越金	0	1,527,082	△ 1,527,082	
総計	4,802,000	5,226,507	△ 424,507	

上記のとおり報告いたします。

2024年 3月31日
 私立大学図書館協会東地区部会 研究部担当 蓮塚 専修大学図書館



2023年度に係る決算報告書及び付属書類について、その信憑書類及び帳簿を監査しました結果、適正であることを認めます。

2024年4月1日
 私立大学図書館協会東地区部会 監事 成蹊大学図書館



≪2024年度東地区部会研究部活動計画（案）≫

2024年度 私立大学図書館協会東地区部会研究部 活動計画（案）
（2024年4月1日～2025年3月31日）

1. 活動計画

- （1）研究部研修事業の実施・評価
- （2）2023年度研究部報告書の発行
- （3）研究部の運営上の課題解決および業務効率化を目的とした組織見直しの実施

2. 行事・会議

（1）運営委員会

① 会議

1) 運営委員会

研究部の活動計画、予算・決算、研究部の運営その他について協議し、活性化に向けた活動を行う。年6回程度開催。

2) 運営委員・研修委託事業者合同会議

研修事業計画、運営その他について協議する。5月、11月下旬の年2回開催。

② 研修事業（委託）

1) 東地区部会研修会の実施（年4～8回程度）。

➤ 初任者研修

➤ Problem Based 研修

➤ スキルアップ研修（6コース）

2) 研修報告大会

1)の報告会として12月にオンライン開催・オンデマンド配信にて実施予定。

3) オンデマンド研修（1コース）

双方向のラーニングデザインによるインタラクティブな研修の実施。

➤ 雑誌コース：7月下旬～10月下旬に開講。

➤ 図書コース：NCR2018のNACSIS-CAT適用に係る教材改訂の為2024年度は中止。

③ 研究講演会

6月にオンライン開催・オンデマンド配信にて実施予定。

（2）研修委員会

① 会議

研修委員会：研修会の企画を立案し、実施する。年8回程度開催。

② 研修会

研修委員会による研修会。

10月～12月にオンライン開催・オンデマンド配信にて実施予定。

（3）研究部報告書

2023年度の研究部活動報告を6月に発行する。

以上

2024年度 私立大学図書館協会東地区部会 研究部
予算(案)
(2024年4月1日～2025年3月31日)

収入の部

(単位:円)

科目	24年度予算(A)	23年度予算(B)	差異(A-B)	備考
部会交付金	4,293,418	4,801,500	△ 508,082	2016年度より支出に応じた交付
研究会参加費収入	0	0	0	
研修会参加費収入	0	0	0	
雑収入	500	500	0	預金利息等
小計	4,293,918	4,802,000	△ 508,082	
前年度繰越金	1,527,082	0	1,527,082	
合計	5,821,000	4,802,000	1,019,000	

支出の部

科目	24年度予算(A)	23年度予算(B)	差異(A-B)	備考
研究講演会(部会総会)開催費	150,000	150,000	0	講師謝礼(50,000円×3名分)
研修報告大会開催費	150,000	150,000	0	
研修会開催費	150,000	150,000	0	研修会開催費他
研修会(地域研修)開催費	0	0	0	
研修事業委託費	4,386,000	450,000	3,936,000	
内訳				
各コース共通運営費	165,000	0	165,000	対象: 初任者研修、Problem Based研修、スキルアップ研修5コース(データ分析・活用コース以外)
初任者研修	605,000	0	605,000	
Problem Based研修	495,000	0	495,000	
スキルアップ研修	2,778,000	0	2,778,000	2024年度は6コース
オンデマンド研修	343,000	450,000	△ 107,000	2024年度は雑誌コースのみ実施
研修会助成金	0	390,000	△ 390,000	2024年度より研修事業委託費へ移行し、助成金の科目廃止
特別助成金	0	2,627,000	△ 2,627,000	
運営委員会費	650,000	150,000	500,000	オンライン業務環境サービス関連契約費用等(Microsoft365等)
運営委員会・研修事業委託業者合同会議開催費	10,000	10,000	0	年2回(5月・11月)
研修委員会費	100,000	100,000	0	
研究部活動費	50,000	50,000	0	研究部活動(運営委員会・研修委員会含む)
印刷費	0	0	0	
通信費	25,000	25,000	0	
運営事務費	50,000	50,000	0	振込手数料他
小計	5,721,000	4,302,000	1,419,000	
予備費	100,000	500,000	△ 400,000	
合計	5,821,000	4,802,000	1,019,000	
東地区部会への戻入額	0	0	0	
総計	5,821,000	4,802,000	1,019,000	

私立大学図書館協会東地区部会研究部細則

(昭和 29 年 4 月 1 日 制定)
(昭和 34 年 5 月 8 日 改訂)
(昭和 34 年 10 月 14 日 改訂)
(昭和 44 年 2 月 18 日 改訂)
(昭和 63 年 6 月 28 日 改訂)
(平成 7 年 8 月 2 日 改訂)
(2000 年 6 月 9 日 改訂)
(2004 年 6 月 18 日 改訂)
(2017 年 6 月 9 日 改訂)
(2022 年 6 月 16 日 改訂)
(2023 年 6 月 15 日 改訂)

第 1 条 この細則は、私立大学図書館協会会則（以下「会則」という。）第 28 条第 1 項第 3 号、第 33 条に基づいて、私立大学図書館協会東地区部会（以下「東地区部会」という。）に研究部を設置し、事務所を東地区部会研究部担当理事校（以下「研究部担当理事校」という。）に置くことを定める。

第 2 条 研究部は、会則第 33 条の目的達成のために次の事業を行う。

- ① 研修事業の実施
- ② 研修報告大会の開催
- ③ 報告書の発行
- ④ 西地区部会研究会との連絡、情報の交換
- ⑤ その他研究部の目的達成に必要な事項

第 3 条 研修事業は、各研修会（コース）ごとに適宜開催し、そのプログラムの進行状況、成果 その他を研究部担当理事に報告するとともに、研修報告大会で発表するものとする。

- 2 研修事業は、研究部より助成金を受けることができる。
- 3 研修事業は、研究部より特別助成金を受けることができる。

第 4 条 研修報告大会は、研修事業での成果発表及び研究部の事業についての報告その他を行う。

- 2 研修報告大会の実施は、対面・オンライン等の形式は問わないものとする。

第 5 条 報告書は、第 2 条の各事業の状況及び研修成果を発表するもので、研究部担当理事が編集の責任に当たる。

第 6 条 研究部には、次の役員を置く。

- ① 研究部担当理事 1 名
- ② 運営委員 7 名
(東地区部会役員校 2 名 東地区加盟校 5 名)

第 7 条 研究部担当理事には、研究部担当理事校の代表者が当たり、研究部を代表し、かつこれを統轄する。

第8条 運営委員は、隔年4月東地区加盟館から研究部担当理事が推薦し、東地区部会役員会の承認を得た上、研究部担当理事をたすけて研究部の運営に当たる。

第9条 研究部には、その運営を円滑ならしめるため、運営委員会を置く。

第10条 運営委員会は、研究部担当理事が招集し、次の事項を行う。ただし、必要に応じて研修事業関係者あるいは当該研修報告大会会場代表者の出席を求めることができる。

- ① 研究部の事業計画
- ② 研修事業に関する連絡、情報の交換
- ③ 研修報告大会の運営に関する事項
- ④ 研究部報告の編集、発行
- ⑤ その他研究部の運営に関する事項

第11条 研究部の経費は、東地区部会の助成金及びその他を充てる。ただし、必要に応じて実費を徴収することができる。

第12条 研究部の運営について必要な事項は、別に定めることができる。

第13条 本細則の改廃は、東地区部会総会の承認を要する。

附 則

- 1 本細則は昭和29年4月1日よりこれを実施する。
- 2 本改訂細則は昭和34年5月8日よりこれを実施する。
- 3 本改訂細則は昭和35年10月14日よりこれを実施する。
- 4 本改訂細則は昭和44年2月18日よりこれを実施する。
- 5 本改訂細則は昭和63年6月28日よりこれを実施する。
- 6 本改訂細則は平成8年4月1日よりこれを実施する。
- 7 本改訂細則は2001年4月1日よりこれを実施する。
- 8 本改訂細則は2004年6月18日よりこれを実施する。
- 9 本改訂細則は2017年4月1日よりこれを実施する。
- 10 本改訂細則は2023年4月1日よりこれを実施する。
- 11 本改訂細則は2023年6月15日よりこれを実施する。

私立大学図書館協会東地区部会研究部研修委員会規則

(昭和 56 年 4 月 1 日制定)

(平成 2 年 4 月 1 日改正)

(平成 8 年 3 月 28 日改正)

(2016 年 12 月 9 日改正)

第 1 条 この規則は、私立大学図書館協会東地区部会研究部（以下「研究部」という。）に設置する研修委員会（以下「委員会」という。）に関し、必要な事項を定めるものとする。

第 2 条 委員会は、東地区加盟館館員の資質の向上を図るため、次の活動を行う。

- ① 研修会等に関する情報の収集、提供
- ② 研修会等の企画、実施
- ③ 関連する機関、団体との連絡・協力
- ④ その他目的達成のために必要な活動

第 3 条 委員会は、6 名以上 8 名以内の委員をもって構成し、うち 1 名もしくは 2 名は研究部担当理事校（以下「担当理事校」という。）から選出する。

第 4 条 委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。ただし、担当理事校から選出された委員の任期は、担当理事校の担当期間とする。

第 5 条 委員に欠員が生じた場合はこれを補充するものとし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

第 6 条 委員会に、委員長 1 名及び副委員長 1 名を置く。

- 2 委員長は、委員会を招集し、議事を進行する。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

第 7 条 委員会は、委員の過半数が出席しなければ、会議を開き、議決することができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。
- 3 委員会は、必要に応じ、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

第8条 委員長及び委員は、東地区加盟館から研究部担当理事（以下「担当理事」という。）が推薦し、東地区部会役員会に諮り、これを委嘱する。

2 第6条に定める副委員長は、委員長が指名する委員をもって充てる。

第9条 委員長は、委員会の活動について、担当理事に対し、少なくとも年2回以上報告しなければならない。

第10条 委員会の事務経費については、私立大学図書館協会東地区部会研究部細則第11条を準用する。ただし、研修会等を実施する際の費用は、必要に応じて実費を徴収することができる。

第11条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会申し合わせとして別に定めることができる。

第12条 この規則の改廃については、研究部運営委員会の承認を必要とする。

附 則

1 この規則は平成8年4月1日より施行する。

2 この改正規則は2017年4月1日より施行する。